



▲11 か国 36 名が参加したセミナー



▲介護施設でどんなことをするのかを学ぶ参加者

## 外国人就職支援セミナー「介護現場で働くために」

介護現場で働くことに関心のある在県外国人を対象とした外国人就職支援セミナー「介護現場で働くために」が、平成22年5月22日(土)、とちぎ国際交流センター多目的ホールで開催され、11か国36名が参加した。講師の長谷川朋子さん(NPO法人地球人ネット理事長)と半田昇さん(特別養護老人ホームさつき荘施設長)が、日本の介護保険サービス、介護現場で働くために必要な資格、介護施設の様子等について分かりやすく説明し、また、ブラジル人職員の野田サチオさんが、外国人として介護施設で働く楽しさや大変さをユーモアを混ぜながら話した。

さらに、介護施設見学会として、6月8日(火)、9日(水)に鹿沼市の特別養護老人ホームさつき荘を、11日(金)に小山市の特別養護老人ホームきぬの里を訪問し、計15名の参加者は介護施設の様々な仕事内容を学ぶことができた。

2010年9月号

No.112

Autumn

- ◆トピックス とちぎグローバルセミナー・外国人留学生就職応援セミナー  
新規留学生のためのガイダンス・国際理解教育講座
- ◆やあ!クローズアップ 県内に就職した留学生
- ◆国際交流団体紹介 さくら国際フレンドシップクラブ
- ◆とちぎに暮らして… 塩谷ディビィナさん(フィリピン出身)

## 「とちぎグローバルセミナー2010」

多くの県民に幅広い分野で国際理解を深めていただくことを目的に、今年で2回目となる「とちぎグローバルセミナー2010」が、7月24日(土)・25日(日)の2日間、とちぎ国際交流センターで開催され、県内外10団体による9つの特色あるセミナーが実施された。

24日(土)は、栃木県国際課主催の「考え方や文化…フランスは日本とどう違う?」、とちぎYMCA主催の「貿易ゲーム」、交流会「仲間」主催の「ブラジル移民100周年が過ぎて」、開発教育ネットワーク主催の「あなたはチョコレート探偵団!」、アムネスティ・インターナショナル宇都宮グループ主催の「非暴力を考える」の5つのセミナー、25日(日)は、シャプラニールとちぎ架け橋の会主催の「ワークショップ～聞くこと・伝えることの難しさ」、栃木県青年海外協力隊OB会主催の「何がわかるかな?世界のお金を見てみよう!」、まちなか・せかいネットとちぎ海外協力NGOセンター主催の「NGOで働くということ」、TIAとJICA地球ひろば主催の「学びをつなぐ、未来をつくる『ESD』とは?」の4つのセミナーに、小学生から大人まで合計165名が参加した。



▲ESD(持続可能な開発のための教育)をわかりやすく説明する講師の桜井さん

## 「県内企業と留学生のための外国人留学生就職応援セミナー」

外国人留学生の採用に関心のある県内の企業と、県内の大学等に通学する留学生を対象にした就職応援セミナーが7月3日(土)、とちぎ国際交流センターで開催された。参加者は、企業7社、留学生は28名、大学関係者も含めると計45名の参加となった。

卒業後、日本での就職を希望する留学生の数も増えてきていることから、昨年初めて県内企業と留学生それぞれ分かれてセミナーを開催したが、今年は気軽な雰囲気でお互いを知る機会を提供するという目的で、合同のセミナーを実施した。

セミナー前半の講義は、まず就職採用専門家が外国人留学生が日本企業で活躍するための基礎知識、就職活動の準備等について話した後、県内の企業で働く二人の元留学生から体験を基にしたアドバイスももらった。後半の交流会では、留学生が7つのグループに分かれ、参加企業7社と個別に約10分づつフリートークの情報交換を行った。熱心に意見が飛び交い、参加した企業は、初めて参加したが留学生のコミュニケーションレベルとやる気の高さに改めて感心した、と笑顔で語った。交流会は好評で、時間がもっと欲しいとの声が多かった。



▲好評だった交流会の様子

## 「新規留学生のためのガイダンス」

栃木県の大学などに入学した留学1年生を対象にTIAの事業紹介、日本での留學生生活のアドバイス等を行うパネルディスカッションをメインにしたガイダンスと交流ティーパーティーを5月29日(土)にとちぎ国際交流センターで開催した。

ガイダンスでは、先輩留学生から日本語上達の方法や地域交流に関するアドバイスを受け、そのあと行われた交流会では、琴の演奏や、留学生やパネリストが日本や母国の歌を披露するなどして大いに盛りあがった。



▲先輩留学生によるパネルディスカッション

## 「国際理解教育講座『平和について』」

TIAでは、国際理解教育支援事業として、児童・生徒に対する国際理解プログラムを実施している。6月22日(火)に大田原市立親園中学校の3年生42名がとちぎ国際交流センターに来館し、「平和について」をテーマにした国際理解プログラムに参加した。

「平和」の言葉の意味やどのような状態を言うのか考えることから始まり、「世界平和度指数(GPI)」の説明や「戦争発生地」、「1人当たりの所得」、2つの地図を比較して分かったことなどをグループ毎に発表した。2つの地図の比較から、なぜ争いが起こるのか?を話し合い、原因を考えた後、世界地図を用いたデータを見ながら世界の現状・課題について学んだ。最後に、世界が平和になるためにどのようなことが必要だと思うか、各自が考えをまとめて講座は終了となった。

今回の講座は、総合的な学習の時間の中で生徒一人ひとりが、「平和」について学んでいくための導入として実施した。TIAはこれからも児童・生徒への国際理解教育を支援して行きたい。



▲「平和な〇〇、〇〇な平和」当てはまる言葉を考える

## やあ！クローズアップ

## 県内に就職した留学生

今回の「やあ！クローズアップ」では、今年度の留学生就職応援セミナーに講師として参加していただいた2人にインタビューし、留学から就職への苦労や実際に就職しての経験談、日本で就職してからの仕事に関する考え方の相違などを話してもらいました。今回、インタビューに応じてくれたのは中国出身の祝明珠さん（株）小山に勤務・写真右）同じく、金明月さん（株）トップツアー勤務・写真左）です。

**はじめまして。多くの外国人留学生は卒業すると母国で就職する方も多いうように見受けられますが、なぜ日本での就職を考えたのでしょうか？**

（祝さん）中国は市場も大きいですが、人口も多いです。留学生で日本に来て留学生活を送っていると、その時間の中国の国内事情や社会情勢が空白になっている留学生には、今の中国の経過がわからない人が多いのです。実際に今の中国の競争に打ち勝てるだけの能力があるかわかりません。それよりは住み慣れた日本で、日本の留学の経験を生かして就職したほうがよいのではないかと思います。思い就職を日本に決めました。

（金さん）中国は技術面、経済は発展しているのに、サービス面では劣っているので、せっかく日本にいるのだから日本のサービス等ソフト面の優れている部分を学ぼうと思いました。そして、トップツアー（株）を選んだもう一つの理由は北京に出張所があり、将来的には中国に戻れるかなと思ったのもあります。



**なるほど。これから就職活動をする留学生に対し先輩からのアドバイスはありますか？**

（祝さん）面接の時に丁寧に話すことですね。私の場合は比較的有利で、アルバイトの時に大体の業務内容は理解していたことと私の仕事ぶり、行動、性格などがある程度わか

っていたということで、面接はスムーズに運んだので、比較にはならないかと思いますが、緊張しないで落ち着いて自分の考えをきちんと話せるようにしておくことが大切だと思います。

（金さん）まずは、やりたい業種を探すということですね。私は旅行会社で仕事があったので選びました。私の選んだトップツアー（株）では3回も面接がありました。多くの企業の場合、中国専門の部署で、中国との翻訳、通訳に徹するケースが多く、わが社にもそういう部署があります。でも私の場合、営業もやってみたかったということもあり、慣れた宇都宮で仕事ができる宇都宮支店を選択しました。できれば、会社を変えていきたいという大きな野望で就職しましたが、実際のところ、日本と中国のやり方は違うので難しいです。面接の時には、自分の考える会社作りについてアピールしたりするほうが、外国人でも話を引き付けられるのではないかと思います。

## 国際交流団体紹介 「さくら国際フレンドシップクラブ」

平成6年に開講した氏家公民館の英会話教室で、「国際化時代、身近に住む外国出身者と交流をしよう。」と平成7年10月1日、フレンドシップクラブを立ち上げました。

桜祭りにあわせて開催した第1回交流会で、外国人からの要望の多かった「日本語教室の開催」と「日本文化体験」を軸に活動を開始。「日本語指導」については初期の話言葉の指導に配慮し、指導法の研鑽に努めました。日本文化については「地域に学ぶ」を具現化するため、夏祭りには、うどんうちや茶道の体験、夕刻にはプラカードを掲げて流し踊りに参加。町内ウォーキングによる名所巡りやバーベキュー、家庭や農場訪問等々の体験は日本語の習得や仲間作りにもプラスになりました。

会員からは「異なる文化に接すると自国のものが見えてくる。」外国人からは「自分の思いを日本語で話してみたい。」などという話が聞けるようになりました。



▲日本語教室のひとつコマ

従来の、フレンド会員と外国人との生活適応支援的な活動から、一般市民と在住外国人との交流の場、「さくら市から世界が見える…日本語スピーチ大会と国際交流の集い」に発展していきま

外国人による自国文化の紹介や

さくら市に住んでの感想・意見・要望などの発表や講評、後半の外国の舞踊や音楽等の鑑賞、時には講演等を加えたイベントは、参加した市民の方々の異文化理解を深め、多文化共生等について考えるのにふさわしい国際交流事業に育っていきま



▲スピーチ大会の海外舞踊披露

さらに日本語教室の学級生が講師となって、生涯学習フェアの出店や外国の料理教室、時には小学校への異文化理解出前講座などに発展していきま

16年目を迎え、これからは外国出身者にも企画の段階から参画して



▲海外の料理教室～台湾編～

いただき、在住外国人にとっても、市民の皆さまにとっても、この地域発国際交流の集いがより身近に、楽しく、意義ある「集い」になっていくように工夫していきたいと思っております。（文：君島利一）



## 塩谷ディビナさん

(フィリピン出身、宇都宮市在住)  
1984年結婚で来日。現在、ご主人と娘さんの3人暮らし。

はじめまして。こんにちは。塩谷さんは日本に来られてからどのくらい経ちますか？

私は、1984年の12月に結婚のために来日しました。夫は、日本人ですが、フィリピンにいた頃、友人の紹介で知り合いました。日本に来た当初は、日本語で簡単な言葉しかできず、主人とは友人の通訳を介しながら話しました。日本語もよくできなかったまま来日したので、日本語が必要だと感じ、日本語学校にも通いました。

そうなんです。フィリピンではどのようなお仕事をされていたんですか？

フィリピンの大学を卒業してから、研究生をしていました。それと同時に記者の仕事やテレビ局でレポーターもしていて、ちょうど楽しくなってきた時期でした。本音を言うとフィリピンでもう少しこの仕事をしたかったのですが、日本への憧れもあり、結婚も決まっていたので、仕事をやめることを決心し来日しました。

日本に来てみての感想はどうでしたか？

日本に来たばかりの頃はちょっと寂しかったです。ホームシックにもかかりました。それから、困ったことは主人が元々日本の生活スタイルを重視していたので、最初の頃は、畳の上で寝ると背中が痛くて苦痛でした。食事についても、主人が和食を好み、フィリピン料理を食べないので、日本食を覚えるのに苦労しました。和食は、日本の友人から教えてもらい、もつ煮や焼き魚、牛井、豚のしょうが焼きなどを覚えました。今は日本の食事に慣れてしまって、フィリピンに帰国しても気候や水が合わなくて2~3日で日本が恋しく感じるようになってしまいました。

これから、日本でぜひやってみたいことは何ですか？

宇都宮市の教育委員会からの依頼で、小中学校で、フィリピンから来た子どもたちに日本語指導をしていますが、今年から学校で行う個人面談の時などや書類の



▲娘さんとフィリピンに里帰り

説明などの通訳、翻訳のお手伝いをしています。今後は、できたら介護の試験も受けて、資格を取りたいと思っています。もちろん引き続き、英語やタガログ語の翻訳等ボランティアもやってみたいと思っています。

## JICA 情報局

JICA ボランティア秋募集  
【募集期間：10/1~11/8】

これまで皆さんが日本で経験してきたことを、海外に舞台を移して JICA ボランティアとして生かしてみませんか？

開発途上国の人びとのために、自分の持っている技術や知識を活かしてみたい！ そうした意欲を持っている方を派遣するのが JICA のボランティア事業です。

私たちができること、世界の人たちが明日への希望をもてたら。それはきっと、あなたの心も満たす素晴らしい経験になるはずです。

～行ってみよう！聞いてみよう～

『募集説明会&体験談 in とちぎ』

入場無料！予約不要！

【日時】10月23日（土）

【会場】とちぎ国際交流センター



青年海外協力隊 & 日系社会青年ボランティア (20歳~39歳)	シニア海外ボランティア & 日系社会シニアボランティア (40歳~69歳)
14:00~16:00	10:30~12:30

【問合せ】TIA 内 JICA 栃木デスク 028-621-0777

### とちぎインターナショナル フェスティバル2010

**2010年10月2日(土)**  
10:00~16:00 雨天決行  
わくわくグランディ科学ランド  
(栃木県子ども総合科学館) 宇都宮市西川田町567

- ★団体活動紹介 ★外国文化の体験
- ★日本文化の体験 ★外国の民芸品展示・販売
- ★各国の食文化(料理)紹介・販売
- ★各国のゲームやスポーツ体験
- ★ワークショップ、ハザー
- ★ステージ・パフォーマンス
- ★各国の歌、音楽、踊り

### TIA バナー広告募集中!

TIA のホームページにバナー広告をはっていませんか？  
詳しくは下記URLをクリック！  
<http://tia21.or.jp/banner.html>

### TIA ご案内図

TIA

(材) 栃木県国際交流協会 (とちぎ国際交流センター)  
Tochigi International Association (Tochigi International Center)

〒320-0033 宇都宮市本町9-14 とちぎ国際交流センター内

T E L 028-621-0777 (代表) 028-627-3399 (相談専用)

F A X 028-621-0951

業務時間 8:30~17:15

休館日 日曜・月曜・祝祭日及び12月29日から1月3日

案内